

認知症に関する活動計画 (概要)

【事業目的】

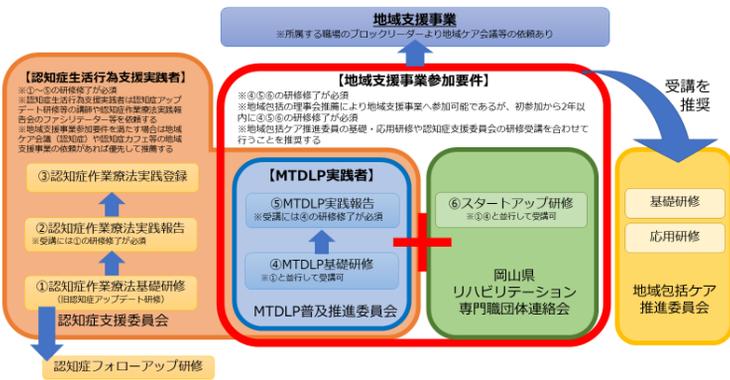
認知症の人が尊厳を持って認知症とともに生きることや認知症になっても進行を緩やかにすることに資する作業療法士を育成し、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる社会の実現に向けた地域貢献活動や調査・研究を実施する。

【活動内容】

人材育成事業として3つの研修会（認知症作業療法基礎研修、認知症フォローアップ研修、認知症作業療法実践事例報告会「GP報告会」）を開催している。また、県士会員や認知症支援実践者による認知症関連活動や地域支援事業への参画状況の調査をおこない、行政、関係団体へ認知症作業療法の広報活動と連携強化していく。今後は認知症作業療法のエビデンス構築のための実践事例の集積や研究等を進めていく。

人材派遣事業

認知症生活行為支援実践者及び地域支援事業参加要件 養成研修構成



地域支援事業へ参画できる人材育成のため、認知症の疫学から地域実践まで領域に関わらず参加できる研修会を開催している。昨年度の参加者は基礎研修16名、フォローアップ研修20名、GP報告会4名となった。また、研修の広報としてポスター作成や予告動画を配信した。現在、認知症生活行為支援実践者は**18名**となり、今後は研修会講師や地域支援事業など活躍の場を広げていきたい。

認知症の人と家族の会との連携事業

「認知症の人と家族の会 岡山県支部」が運営している**若年性認知症の人と家族の集い（ひまわりの会）**に県士会員を2名派遣し、家族や当事者の方々と交流を深めた。今年度は活動の運営や認知症介護に関する講演を通してより交流を深めていきたい。

広報連携事業

認知症オレンジパートナー主催「認知症になっても自分らしく生きるために」をテーマに岡山県内の看護・福祉科の大学生が主体となって行うイベントに**オブザーバーとして企画会議から参加した**。当日は若年性認知症の当事者2名をお招きし、対談形式で生活の様子を伺う講演会や参加者と交流し、認知症啓発セミナーを行った。また、地域の多職種の情報交換会（ローズマリーの会）が主催する研修会の講師や座談会（オレンジメモリーウォーク）に参加し、職種を超えた交流や情報交換を行うことができた。

